

## 2008 年度第 3 回阪神地区協議会運営委員会議事要旨

日 時:2009年1月 19 日(月) 14:00～16:00

場 所:大手前大学さくら夙川キャンパス メディアライブラリーCELL113

|            |                  |       |
|------------|------------------|-------|
| 出席者:研究会幹事校 | 関西福祉大学図書館        | 細金 美佐 |
| 研究会副幹事校    | 神戸山手大学図書館        | 松岡 正樹 |
| 相互利用運営幹事校  | 神戸国際大学図書館        | 筆保 直子 |
| 監事校        | 大阪国際大学総合メディアセンター | 吉岡 肖治 |
| 運営委員校      | 関西外国語大学図書館       | 藤津 滋生 |
| 理事校        | 大手前大学図書館         | 守屋 祐子 |
|            |                  | 竹村 宏  |

第 2 回阪神地区協議会定期総会議長校 甲南女子大学 吉田 政和

議事に先立ち、配布資料の確認があり、理事校である大手前大学図書館 守屋祐子事務室長の司会により議事に入る。

### 議題(1) 2008 年度第 2 回阪神地区協議会定期総会の運営について

理事校から、2008 年度以降の役員校輪番制について、資料 1 に基づいて説明があり、意見交換を行った。ローテーション表は 2008 年 5 月の定期総会時点のものを採用し、該当する加盟校に役員就任を依頼する。役員校その他の分担は大学としてなすべきであるから、役割の免除は行わない(したがって上記ローテーション表は、「⑤その他」を「④阪神地区研究会幹事校・相互利用運営幹事校」に含めるよう補正する)。

なおすべての加盟校が何らかの形で分担できるよう、特別な事情があれば複数の加盟校による共同分担を考慮する等、運営委員会も支援する。

以上を承認し、それに基づいて理事校が提案文書を作成することを了承した。

### 議題(2) 2008 年度第 2 回阪神地区協議会定期総会議長の選出について

理事校から、2008 年度第2回阪神地区協議会定期総会における議長校は、阪神地区協議会員校ローテーション関係資料(資料 2)に基づき、甲南女子大学であることが確認されている旨の提案があり、異議なくこれを承認した。

### 議題(3) 2009 年度以降の役員校輪番制について

理事校から、2009 年度以降の役員校輪番制について、資料 3 に基づいて説明があり意見交換を行なった。その結果、「役員校選出に関する提案」は承認された。「役員校ローテーション関係資料に関する申し合わせ(案)」については、下記のように了承された。

3. (1) 2) 役員校選出用ローテーション表には、2008年度第1回定期総会時点の役員校輪番制基礎資料(以下、基礎資料という。)の学生入学定員数を用いる。

1. 西地区部会長候補のグループの基準は入学学生定員 1000 人以上、理事校候補のグループの基準は入学学生定員 500 人以上、幹事校候補のグループの基準は入学学生定員 499 人以下とする。

3. (1) 5) ローテーション表は隔年5月1日現在で行なう基礎資料の調査に基き、基礎資料調査の内容は、その年度の定期総会で報告するものとする。

#### 議題(4) 2009 年度年度以降阪神地区協議会役員校について

理事校から2009 年度年度以降阪神地区協議会役員校について、資料4に基づいて説明があり意見交換を行なった。その結果、総会資料として提出する際には各大学の担当者名を付記することが提案され、了承された。

\*なお1月28日、2010～11 年度相互利用担当者運営幹事校就任を委嘱中であった関西国際大学からお断りの連絡があった。

#### 議題(5) 大学図書館近畿イニシアティブ運営委員および専門委員の選出について

理事校から、運営委員校および専門委員の選出については、阪神地区協議会ローテーション関係資料等に基づき、理事校から依頼中である旨の報告があった。審議の結果、2008 年度第2回定期総会までに内諾を得た場合はその席上にて協議事項とすることを承認した。

#### (6) その他

1. 相互利用担当者運営幹事校神戸国際大学より、2008年12月17日開催の第2回阪神地区相互利用担当者連絡会について報告があり、承合事項が相互利用以外の事項が多かったこと、その取り扱いについて苦慮している旨の報告があった。それについて、新たに図書館業務に携わる者同士の情報交換会を設けてはどうか、あるいはメーリングリストのさらなる活用を促してはどうか、という意見があり、今後も継続して検討することとなった。